



Tokyo Tech

平成 27 年 8 月 3 日

報道機関各位

東京工業大学広報センター長
大 谷 清

東京工業大学社会人教育院主催／蔵前工業会共催 講演会

「バーチャルリアリティの最前線」

東京工業大学社会人教育院は、本学の同窓会組織である蔵前工業会と共催で、9 月 30 日（水）より 5 回にわたり、「バーチャルリアリティの最前線」と題した講演会を開催いたします。

知覚を刺激し、ものの＜本質＞を再現すること。「バーチャルリアリティ」（VR）の技術は産業界のみならず、わたしたちの身近な生活に浸透しています。広告、観光、通信、医療、スポーツ、芸術、教育——。これら様々な分野で、たとえば、超高速カメラやシミュレータ、ヘッドマウントディスプレイなど、VR 技術を搭載した製品が次々と開発されてきました。VR 技術は時間、空間等の制約を変えうる無限の可能性を秘めたテクノロジーとして期待されています。

本講演会では、最先端の VR 研究・技術に携わる 5 名の講師をお迎えして、最新の成果、今後の展望をお話いただきます。5 名の講演者はいずれも、本学教員、もしくは本学出身者です。最終日となる第 5 回講演会には、国内外で注目を集める＜ウルトラテクノロジスト集団＞、チームラボ（※）より田村哲也取締役をお迎えして、本学長谷川晶一准教授（本講演会第 1 回講師）との講演・対談を開催します。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

（※）2000 年、東京大学・東京工業大学の学生によるベンチャー企業としてスタートし、2015 年のミラノ万博日本館ではプロジェクションマッピングを用いた新作「HARMONY」

「DIVERSITY」を出展、お台場で開催された「チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地」では 47 万人を動員しました。テクノロジーとアートをつなぐ活動が、子どもから大人まで支持されています。

記

【日 時】平成 27 年 9 月 30 日（水）、10 月 7 日（水）、10 月 14 日（水）、

10 月 21 日（水）、10 月 28 日（水） 各回 18:30～20:30

【場 所】東京工業大学 キャンパス・イノベーションセンター 1 階 国際会議室

（JR 田町駅芝浦口徒歩 1 分）

【参加対象】 どなたでもご参加いただけます（事前申込要）

【参加人数】 定員 100 名

【参加料金】

No	区分	講演会 1 回あたり	全 5 回一括
1	一般社会人	2,500 円	10,000 円
2	蔵前工業会会員（会費納入者）および 蔵前ゴールドカード家族会員	無料	
3	東京工業大学学部学生・大学院生・ 附属科学技術高等学校生徒	無料	
4	No.3 を除く 大学、大学院等学生、高等学校等生徒 （25 歳以下）	1,100 円	5,000 円
5	社会人教育院講座受講生・修了生	2,000 円	8,000 円
6	東京工業大学教職員	2,000 円	8,000 円

【講演タイトル・開催日時・講演者】

- (1) 『バーチャルリアリティという夢、拡張現実という現実解』
日 時：9 月 30 日（水） 18:30～20:30
講演者：長谷川 晶一 准教授（東京工業大学 精密工学研究所）
- (2) 『身体の未来』
日 時：10 月 7 日（水） 18:30～20:30
講演者：稲見 昌彦 教授（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科）
- (3) 『嗅覚ディスプレイの現状と今後の展望』
日 時：10 月 14 日（水） 18:30～20:30
講演者：中本 高道 教授（東京工業大学 精密工学研究所）
- (4) 『画像認識を用いた次世代ユーザインタフェース』
日 時：10 月 21 日（水） 18:30～20:30
講演者：小池 英樹 教授（東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻）
- (5) 『「バーチャルリアリティ」をキーワードに「共創」やテクノロジーなどについて』
日 時：10 月 28 日（水） 18:30～20:30
講演者：田村 哲也 取締役（チームラボ）
対談者：長谷川 晶一 准教授（※）

（※）第 5 回は、長谷川 晶一准教授（第 1 回講師）も登壇します。各講演（長谷川准教授 15 分、田村取締役 45 分※予定）の後、対談（30 分※予定）を開催いたします。

尚、講師の都合により、時間・順番等は変更となる可能性があります。

【申込方法・詳細】 東京工業大学 社会人教育院 WEB サイトをご確認ください。

http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/lecture/detail_231.html

【参 考】過去の講演会は以下のテーマで開催しました

2010 年度 「技術者のためのマネジメント・スキルアップ」

2011 年度 「日本再生：科学と技術で未来を創造する
ー震災後の復興から新たな社会構築までー」

2012 年度 「“ひと、テクノロジー、社会”の今」

2014 年度 「未来（あした）をつかもう
～健康長寿への自助努力と環境整備～」

「リベラルアーツ ～輝く未来（あした）へ～」

【申込・受講に関する問い合わせ先】

東京工業大学 社会人教育院 事務室

Email: jim@kyoiku-in.titech.ac.jp

TEL : 03-3454-8722 , 03-3454-8867 / FAX : 03-3454-8762

【取材申込・問い合わせ先】

東京工業大学 広報センター

Email: media@jim.titech.ac.jp

TEL : 03-5734-2975 / FAX : 03-5734-3661

別紙：講演会参加申込書

添付資料：「バーチャルリアリティの最前線」チラシ

別紙

参加をご希望の場合は、お手数ですが FAX にてご連絡いただければ幸いです。

【 講演会 参加申込書 】

東京工業大学社会人教育院主催／蔵前工業会共催 講演会

「バーチャルリアリティの最前線」

【送 付 先】

東京工業大学広報センター

FAX 03-5734-3661

※参加希望の回にチェックをお入れください。

第1回 ☐ 第2回 ☐ 第3回 ☐ 第4回 ☐ 第5回 ☐

貴社名：

御名前：

御連絡先 TEL _____

E-mail _____

問い合わせ先 東京工業大学 広報センター

TEL: 03-5734-2975 FAX: 03-5734-3661

【案内図】



バーチャル リアリティの 最前線

お申込み
受付中！
各回 10 日前まで
(定員有)※



9/30
(水)

長谷川 晶一

東京工業大学 精密工学研究所 准教授

『バーチャルリアリティという夢、拡張現実という現実解』



10/7
(水)

稲見 昌彦

慶應義塾大学
大学院メディアデザイン研究科 教授

『身体未来』



10/14
(水)

中本 高道

東京工業大学 精密工学研究所 教授

『嗅覚ディスプレイの現状と今後の展望』



10/21
(水)

小池 英樹

東京工業大学 大学院情報理工学研究科
計算工学専攻 教授

『画像認識を用いた次世代ユーザインタフェース』



10/28
(水)

田村 哲也

チームラボ 取締役 ※講演・対談

『「バーチャルリアリティ」をキーワードに
「共創」やテクノロジーなどについて』

2015 年 9 月 30 日 (水) より 5 週連続・各回 18:30-20:30
キャンパス・イノベーションセンター (JR 田町駅徒歩 1 分) にて開催

知覚を刺激し、もののく本質を再現すること。「バーチャルリアリティ」(VR)の技術は、産業界のみならず、わたしたちの身近な生活に浸透しています。広告、観光、通信、医療、スポーツ、芸術、教育——。これら様々な分野で、たとえば、超高速カメラやシミュレータ、ヘッドマウントディスプレイなど、VR 技術を搭載した製品が次々と開発されてきました。VR 技術は時間、空間等の制約を変えうる無限の可能性を秘めたテクノロジーとして期待されています。本講演会では、最先端の VR 研究・技術に携わる 5 名の講師をお迎えして、最新の成果、今後の展望をお話いただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

お申込み (事前予約要)、参加料金、開催場所等の詳細はチラシ裏面もしくは社会人教育院 WEB サイトをご確認ください

東京工業大学 社会人教育院 WEB サイト URL : <http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/>

※ 申込受付の締切日は定員の都合等により変更となる場合がございます

東工大 社会人教育院 検索

社会に出ると、あらためて学びたい自分に気づく。

東京工業大学 社会人教育院

講演日時・講師紹介



『バーチャルリアリティという夢、拡張現実という現実解』

長谷川 晶一（東京工業大学 精密工学研究所 准教授）

9/30
(水)

1997 年東京工業大学工学部電気電子工学科卒業。1999 年同大学大学院知能システム科学専攻修士終了。同年ソニー株式会社入社。2000 年東京工業大学精密工学研究所助手。2006 年 9 月博士（工学）。2007 年電気通信大学知能機械科准教授。2010 年東京工業大学精密工学研究所准教授現在に至る。EuroHaptics 2004 EuroGraphics 2004 Best Paper Award, ACE2005 Best Paper Award, 日本バーチャルリアリティ学会論文賞、貢献賞など受賞。バーチャルリアリティ、物理シミュレーション、力触覚インタフェースの研究に従事。



『身体未来』

稲見 昌彦（慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授）

10/7
(水)

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。博士（工学）。東京大学助手、電気通信大学教授、MIT コンピュータ科学・人工知能研究所客員科学者等を経て 2008 年 4 月より現職。自在化技術、Augmented Human、エンタテインメント工学に興味を持つ。現在までに光学迷彩、触覚拡張装置、動体視力増強装置など、人の感覚・知覚に関わるデバイスを各種開発。米 TIME 誌 Coolest Invention of the Year、文部科学大臣表彰若手科学者賞、情報処理学会長尾真記念特別賞などを受賞。超人スポーツを提唱。



『嗅覚ディスプレイの現状と今後の展望』

中本 高道（東京工業大学 精密工学研究所 教授）

10/14
(水)

1984 年東京工業大学電気電子工学専攻修士課程了。同年日立製作所（株）入社。1987 年東京工業大学助手、1993 年同大助教授、2013 年同大精密工学研究所教授、現在に至る。工学博士。1996-1997 年、米国パシフィックノースウェスト研究所客員研究員。ヒューマン嗅覚インタフェース、知覚情報処理、センサ情報処理の研究に従事。



『画像認識を用いた次世代ユーザインタフェース』

小池 英樹（東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻 教授）

10/21
(水)

1986 年東京大学工学部卒業。1991 年同大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。電気通信大学教授を経て、2014 年より現職。この間、UC Berkeley 客員研究員、Sydney 大学客員研究員、内閣事務官（情報セキュリティ対策推進室）など併任。HCI の研究に従事。



『「バーチャルリアリティ」をキーワードに「共創」やテクノロジーなどについて』

田村 哲也（チームラボ 取締役）

10/28
(水)

青森市出身。東京工業大学大学院修士課程卒（機械制御システム工学専攻）。大学では、バックステッピング法による浮遊リンクの姿勢制御を研究。2000 年 12 月チームラボ設立、取締役に就任。主に、新技術の研究開発を担当。
※第 5 回は、長谷川 晶一准教授（第 1 回講師）にもご登壇頂きます。お二方による各ご講演（長谷川准教授 15 分、田村取締役 45 分予定）の後、対談（30 分予定）を開催いたします。尚、講師の都合により、時間・順番等は変更となる可能性があります。

*当講演会は予定中のもので、一部、変更になる場合がございます。（2015 年 7 月現在）

お申し込み方法・参加料金

下記いずれかの方法で事前にお申し込みください（締切：各回 10 日前まで）（定員等の都合により変更となる可能性があります）

① 社会人教育院 WEB サイトよりお申込み

URL：http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/ ⇒ TOP ページ > 講演会 > 申込受付中の講演会 へ移動してください

<申込区分表>No.4 の区分は、WEB サイトによるお申し込みがシステムの都合上できなくなっております。

お手数ですが、以下②のお手続きにてお申込みをお願いいたします。

<申込区分表>

② お申込書を FAX・郵送等にて社会人教育院事務室へご提出

FAX 番号・住所等は左下「お問合せ先」をご覧ください。

お申込書を当方まで直接お持ちいただく場合は、受付時間にご注意ください。

お申込書は以下に掲示、もしくは配布しております。

社会人教育院 WEB サイト（上記①）／社会人教育院事務室・事務室前ラック

お申込み後～講演会参加までの流れ

1. お申込み

1. お申込み後、受付完了をお知らせする自動返信メールを送信します。以後、参加料金お振込み先や参加確定等のご連絡を次のメールアドレスより送信いたします。受信・迷惑メール設定にご注意ください。
[送信元：info@kyoiku-in.titech.ac.jp]

24 時間以内に受付完了メールが届かない場合は、左下の「お問合せ先」までご連絡ください。

2. 特定の申込区分の方にのみ、当方より各所へ在籍確認を行います（5 営業日前後を要します）。

3. 特定の申込区分の方は参加料金の事前支払が必要となります。お振込み先をメールにてご連絡いたします。記載の期日までに振込みください（現金でのお支払いは受付しかねます）。尚、お振込手数料は恐れ入りますがご負担くださいますようお願いいたします。お振込結果確認には 3 営業日前後を要します。

4. 在籍確認・お振込結果確認を以て講演会の参加が確定します。参加のご案内をメールにてお送りします。そのメールが参加票となります。

5. 開場は講演開始時刻 30 分前となります。参加票（メール）をお持ちの上、会場へお越しください。尚、蔵前ゴールドカード家族会員（申込区分 No.2）、学割対象者（申込区分 No.4）の方は当該カードもしくは学生証の提示が必要です。忘れずお持ちください。

注意事項

- ・お振込み期日までに参加料金の入金を確認されない場合、お申込みはキャンセルとなります。
- ・お申込み後にキャンセルされる場合は、速やかに「申込受付完了」メール記載のキャンセル URL にてお手続きください。
- ・一度お振込みいただいた参加料金は返金いたしかねます。

お問合せ先

東京工業大学 社会人教育院事務室

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター 809 号室
（講演会開催場所（右地図）と同じビル内です） 受付時間：平日 10:30 ～ 17:15

TEL：03-3454-8722 / 03-3454-8867 FAX：03-3454-8762

Mail：jim@kyoiku-in.titech.ac.jp URL：http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/

開催場所

キャンパス・イノベーションセンター 1F 国際会議室

